

## <日本調剤グループ環境方針>

私たち日本調剤グループは、「すべての人の『生きる』に向き合う」を使命に掲げ、医療を通じて社会に貢献する会社として、人々の健康な生活を支える役割を担っています。気候変動と環境汚染は地球規模の課題であり、経営において重要な課題と認識しています。また、長期的な視点から、気候変動課題や環境保護に取り組むことは、人々の生活環境を整え、健康維持や病気予防につながるものと捉えています。当社グループにかかわるすべてのステークホルダーと協働し、環境に配慮した事業活動を推進していくために、以下の方針を定めます。

### 1. 基本方針

#### (1) 気候変動緩和

グループの事業活動を通じて排出される温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）排出量を削減し、地球温暖化の防止に努め、気候変動の緩和に貢献します。

#### (2) 環境負荷低減

企業の社会的責任を認識し、グループの事業活動全体を通じて環境負荷の低減に努めます。環境負荷を軽減する技術の導入、再生可能エネルギーへの移行を積極的に進めます。

#### (3) 廃棄物削減・効率的な資源利用

資源利用の効率改善、廃棄物の削減、再使用、再資源化、環境配慮素材や再利用可能容器への転換を推進し、循環型社会の構築を目指します。

#### (4) 水使用の効率改善

水使用量の削減、排水の二次利用、汚染水の適切な排水処理を行うなど、水使用の効率改善と環境負荷の低減に努めます。

#### (5) 生物多様性の保全

生態系に与える影響を認識し、生態系の維持に配慮した事業活動や事業活動により発生する化学物質の適切な処理を行うなど、生物多様性への影響を最小化することで保全に努めます。

## 2. 法規制や協定の遵守

事業活動を行う各国、各地域における環境関連の法規制・協定及び自主管理基準を遵守します。

## 3. 適用範囲

本方針は、日本調剤グループのすべての役員・執行役員・従業員に適用します。また、当社グループに関係するすべてのビジネスパートナーに対しては、本方針への理解と支持を求め、環境保護をともに推進します。

## 4. 環境マネジメント

環境マネジメントシステムを構築し、事業活動と連動させて継続的な改善とモニタリングを実施します。

## 5. 教育

環境に配慮した取り組みを推進するための教育を継続的に行い、日本調剤グループにおける環境課題に関する理解の促進及び意識の醸成を図ります。

## 6. 改廃

本方針の改廃は、日本調剤株式会社の取締役会で行います。

## 7. 施行

本方針は、2023年1月1日から施行します。

本方針は、2024年1月1日から改正の上施行します。